

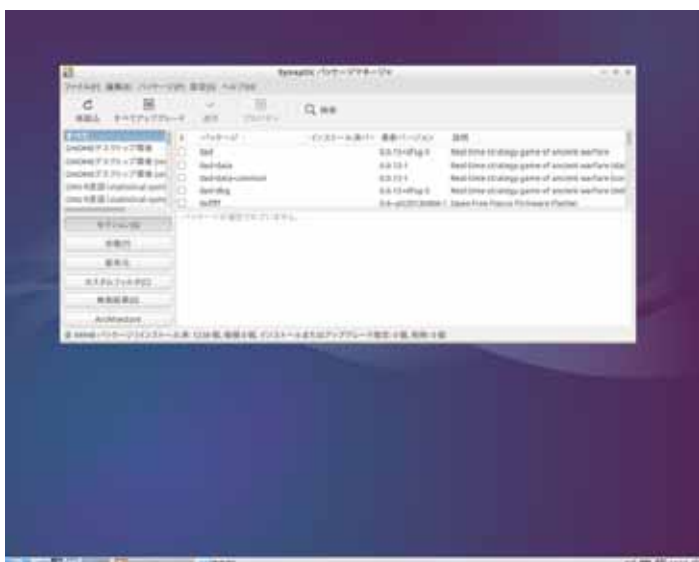
Lubuntu14.04 で日本語入力を改良する

日本語入力は標準で IBus-日本語-Anthy がインストールされているのですが、変換効率や操作性でいまいちと評価されています。

文字入力を頻繁に行うような使い方（ワープロとして使うなど）の場合は mozc（モズク）をインストールして使っている方が多いようですので、mozc のインストール方法について調べてみました。

Mozc を使用するためには関連ソフトをいくつかインストールしなければならないようですので、今回は Synaptic パッケージマネージャを使ってまとめてインストールしてみました。

「スタート」「システムツール」「Synaptic パッケージマネージャ」を起動する



検索ボックスに mozc と入れて検索するといくつかが表示されますのでこの中から、ibus-mozc をクリックして「インストール指定」をクリックすると

「依存により要求された変更を追加しますか？」と表示されるので「マーク」ボタンをクリックする。

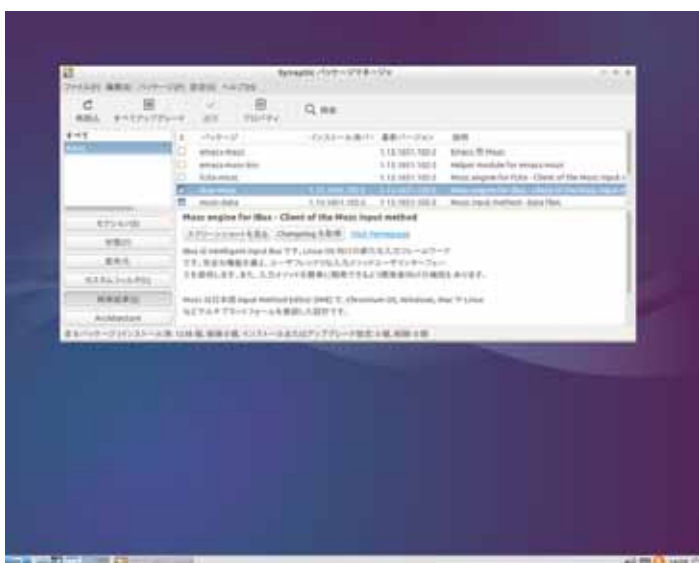
その後画面上部の適用ボタンをクリックします。

「以下の変更を適用しますか？」と聞いてくるので「適用」をクリックします。

インストールが始まりしばらくすると「変更を適用しました」となるので「閉じる」をクリックする。

しばらくして mozc 関係のプログラムの状態を表示しますのでそのままパッケージマネージャを終了してください

その後必ず Lubuntu を再起動し

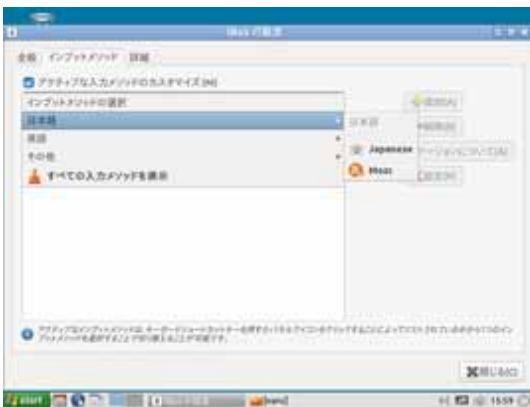


てください。



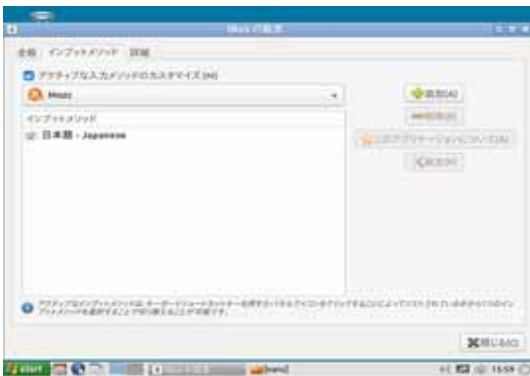
次に mozc を適用するための ibus の設定です

「スタート」 「設定」 「キーボード・イン
プットメソッド」をクリックする。



ibus 設定画面が表示されます。

「インプットメソッド」タブの「アクティブな
入力メソッドのカスタマイズ」にチェックを入
れて「インプットメソッドの選択」を「日本語」
の「mozc」を選択する。



「追加」をクリックして「閉じる」をクリック
する。

画面下部右端のキーボードマークをクリック
して「日本語-mozc」を選択すれば入力
は mozc が適用されます。

以上で mozc の導入は終わりましたが、使ってみると色々使いにくいところがありますので
細かな設定変更が必要です。「Lubuntu を導入する」に戻り次の項目を参考にしてください

参考文献 半角/全角キーでの切り替え
候補画面の表示位置